



平成27年10月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年6月12日

上場会社名 正栄食品工業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 8079 URL http://www.shoeifoods.co.jp/
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)本多市郎
 問合せ先責任者 (役職名)常務取締役 (氏名)藤雄博周 (TEL)03(3253)1211
 四半期報告書提出予定日 平成27年6月12日 配当支払開始予定日 平成27年7月10日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年10月期第2四半期の連結業績(平成26年11月1日~平成27年4月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年10月期第2四半期	55,610	9.3	2,235	28.7	2,397	32.4	1,856	68.0
26年10月期第2四半期	50,887	12.6	1,737	△18.5	1,810	△26.7	1,104	△34.3

(注) 包括利益 27年10月期第2四半期 3,044百万円(113.2%) 26年10月期第2四半期 1,427百万円(△54.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年10月期第2四半期	95.43	—
26年10月期第2四半期	56.81	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年10月期第2四半期	72,009	33,268	45.3
26年10月期	59,269	30,304	50.0

(参考) 自己資本 27年10月期第2四半期 32,586百万円 26年10月期 29,639百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年10月期	—	8.50	—	8.50	17.00
27年10月期	—	8.50	—	—	—
27年10月期(予想)	—	—	—	8.50	17.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年10月期の連結業績予想(平成26年11月1日~平成27年10月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	105,000	6.9	3,100	23.6	3,300	20.3	2,400	43.1	123.39

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社 (社名) 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

27年10月期2Q	21,159,914株	26年10月期	21,159,914株
27年10月期2Q	1,709,025株	26年10月期	1,709,025株
27年10月期2Q	19,450,889株	26年10月期2Q	19,451,198株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
(4) 追加情報	5
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	5
4. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府・日銀による経済対策や金融緩和政策の効果から、企業収益や雇用情勢等に改善の兆しがみられるなど、景気は緩やかな回復基調に推移しました。

食品業界におきましては、円安進行に伴う輸入原材料価格の上昇や、消費税増税による影響の長期化など、消費マインドは依然として厳しく、先行き不透明な状況が続きました。

このような状況にあって当社グループは、輸入食品や食品原材料の調達、近年の気候変動や天候不順等の影響を大きく受けることから、安定した品質と数量確保を目的に、仕入・調達機能の強化に努めてまいりました。

また、昨年、米国現地法人で発生した火災事故は、焼失した工場・保管倉庫の設備が、2015年2月末をもって再建し、竣工式には、プルーン・クルミ農家など100社以上の関係者をお招きし、再建への感謝と一層のご支援をお願い申し上げました。

売上面については、国内の原料乳製品の供給不足を背景に、輸入調整粉乳・調整バターが前年実績を上回り、また、自然食品による健康ブーム等もあり、ナッツ・ドライフルーツ類が大幅に伸長しました。米国事業は、港湾ストの影響等から出荷業務が滞り、乾果実・ナッツ類のドル建て輸出高は前年実績を下回りましたが、中国事業は、製菓・製パン向けの乾果実やアーモンド等が堅調に推移し、また、輸出向けの中国産ナッツ・シード類が伸長したことから、当第2四半期連結累計期間の売上高は、前年同四半期比9.3%増の556億10百万円となりました。

利益面では、海外の農産物価格の上昇や円安に伴う輸入コストの上昇等もありましたが、営業利益は前年同四半期比28.7%増の22億35百万円、経常利益は前年同四半期比32.4%増の23億97百万円となりました。四半期純利益は、SHOEI FOODS(U. S. A.), INC.での火災事故に伴う保険差益の計上もあり、前年同四半期比68.0%増の18億56百万円となりました。

当期の所在地別セグメントの業績は次のとおりであります。

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結損益計算書計上額(注)
	日本	米国	中国	計		
売上高	47,813	12,757	5,997	66,568	△10,958	55,610
セグメント利益	2,276	543	54	2,874	△638	2,235

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

1 日本

国内の売上高は、自然健康食品ブームの朝食シリアル市場の拡大から、ドライフルーツ・ナッツ類や穀物加工品の原材料が伸長し、また、国内需要を賄えない状況にある乳製品類は、提案営業等の販促活動から輸入調整粉乳・調整バターの販売実績が前年を上回った結果、前年同四半期比8.8%増の478億13百万円となりました。セグメント利益は、海外の農産物価格の上昇や円安に伴う輸入コストの上昇等による商事・販売部門の利益率の低下や、運送費等の販売コストの増加もありましたが、生産子会社での早期における大幅な貯蔵品原材料の調達確保が功を奏し、製品原価のコスト増を抑制できたことから、前年同四半期比17.5%増の22億76百万円となりました。

2 米国

当地域の売上高は、主力のクルミ事業およびプルーン事業におきまして、米国西海岸の港湾ストの影響等から、輸出高が前年実績を下回りましたが、為替変動による円貨換算から前年同四半期比9.6%増の127億57百万円となりました。セグメント利益は、港湾ストに起因するたな卸資産の増加や機会損失等の影響がありましたが、クルミ・プルーンの加工事業や農園経営における大幅な採算性の改善から前年同四半期比117.4%増の5億43百万円となりました。

3 中国

当地域の売上高は、乾果実やアーモンド等のナッツ類が、内陸部の経済発展を背景に製菓・製パン向けに堅調に推移し、また、中国産ナッツ・シード類は、欧州向けに輸出が伸長したことから、前年同四半期比55.8%増の59億97百万円となりました。セグメント利益は、国内販売における物流コストの増加等から厳しい状況にありましたが、ナッツ・シード類の加工事業におきまして、貯蔵品原材料の購買コスト低減や操業度向上による原価率改善に努めた結果、当該利益は54百万円（前年同四半期はセグメント利益2百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ127億40百万円増加し、720億9百万円となりました。その主な要因は、流動資産については、「現金及び預金」が9億52百万円、「受取手形及び売掛金」が30億58百万円、「商品及び製品」が32億37百万円、「原材料及び貯蔵品」が33億64百万円、「仕掛品」が8億11百万円、それぞれ増加したことから、前連結会計年度末に比べ112億55百万円増加し、517億89百万円となりました。固定資産は、「投資有価証券」が6億93百万円、「建物及び構築物」が7億73百万円、「機械装置及び運搬具」が7億55百万円、それぞれ増加し、「建設仮勘定」が6億71百万円減少したことから、前連結会計年度末に比べ14億85百万円増加し、202億20百万円となりました。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ97億76百万円増加し、387億41百万円となりました。その主な要因は、流動負債については、「賞与引当金」が1億13百万円減少したものの、「支払手形及び買掛金」が28億96百万円、「短期借入金」が49億29百万円、「未払法人税等」が2億27百万円それぞれ増加したことから、前連結会計年度末に比べ81億13百万円増加し、343億33百万円となりました。固定負債は、「繰延税金負債」が4億87百万円、「長期借入金」が11億93百万円、それぞれ増加したことから、前連結会計年度末に比べ16億62百万円増加し、44億7百万円となりました。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ29億63百万円増加し、332億68百万円となりました。その主な要因は、「繰延ヘッジ損益」が70百万円減少したものの、「利益剰余金」が17億75百万円、「その他有価証券評価差額金」が5億25百万円、「為替換算調整勘定」が7億16百万円それぞれ増加したことによるものです。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は前連結会計年度末に比べ9億52百万円増加（前年同四半期は8億27百万円の減少）し、64億43百万円となりました。

各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果使用した資金は、35億24百万円（前年同四半期の使用した資金は8億98百万円）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益30億31百万円、減価償却費9億51百万円、仕入債務の増加26億21百万円、売上債権の増加27億68百万円、たな卸資産の増加70億27百万円、法人税等の支払額5億48百万円等によるものです。

前年同四半期比で使用した資金が増加となりました要因は、税金等調整前四半期純利益が前年同四半期に比べ12億30百万円増加したものの、たな卸資産の増加額が前年同四半期に比べ45億97百万円増加（前年同四半期のたな卸資産の増加は24億29百万円）したことによるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、14億34百万円（前年同四半期の使用した資金は6億21百万円）となりました。これは主に、有形固定資産の取得によるものです。

前年同四半期比で使用した資金が増加となりました要因は、有形固定資産の取得による支出が増加したことによるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果得られた資金は、56億78百万円（前年同四半期の得られた資金は6億42百万円）となりました。これは主に、短期借入金47億5百万円、長期借入金15億円の借入による収入、長期借入金の返済による支出3億10百万円、配当金1億65百万円の支払いによるものです。

前年同四半期比で増加となりました要因は、短期借入金と長期借入金の借入の増加によるものです。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループは、当第2四半期連結累計期間の業績や現時点での当社を取り巻く経営環境などを勘案した結果、平成26年12月15日に公表いたしました平成27年10月期通期連結業績予想を修正しております。詳細につきましては、平成27年6月12日公表の「平成27年10月期第2四半期累計期間業績予想と実績値の差異及び平成27年10月期（通期）業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、業績予想は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

該当事項はありません。

なお、特定子会社の異動には該当しておりませんが、第1四半期連結会計期間において、香港正栄国際貿易有限公司を連結の範囲に含めております。

(四半期連結損益計算書関係)

保険差益

米国会計基準を適用している連結子会社であるSHOEI FOODS(U. S. A.), INC. の工場において、平成26年5月31日に発生した火災に係る保険金受領額1,510,444千円から、焼失したたな卸資産および固定資産の帳簿価額857,991千円を控除した金額を計上しています。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

(表示方法の変更)

前第2四半期連結累計期間において、「営業外費用」の「その他」に含めて表示しておりました「支払補償費」は、金銭的重要性が増したため、当第2四半期連結累計期間では区分掲記することといたしました。

この結果、前第2四半期連結累計期間の四半期連結損益計算書において、「営業外費用」の「その他」に表示していた19,030千円は、「支払補償費」16,935千円、「その他」2,094千円として組み替えております。

(法人税等の税率の変更等による繰延税金資産及び繰延税金負債の金額の修正)

「所得税法等の一部を改正する法律」(平成27年法律第9号)及び「地方税法等の一部を改正する法律」(平成27年法律第2号)が平成27年3月31日に公布され、平成27年4月1日以降に開始する連結会計年度から法人税率等の引き下げ等が行われることとなりました。これに伴い、繰延税金資産及び繰延税金負債の計算に使用する法定実効税率は従来の35.0%から平成28年11月1日に開始する連結会計年度に解消が見込まれる一時差異等については33.0%に、平成29年11月1日に開始する連結会計年度以降に解消が見込まれる一時差異等については、32.0%となります。

なお、この税率変更による影響は軽微です。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年10月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年4月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,490,876	6,443,756
受取手形及び売掛金	18,252,148	21,310,611
商品及び製品	12,489,214	15,726,494
仕掛品	724,568	1,536,346
原材料及び貯蔵品	1,390,165	4,754,966
繰延税金資産	397,024	407,985
その他	1,796,530	1,618,794
貸倒引当金	△6,266	△9,377
流動資産合計	40,534,262	51,789,578
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	7,525,642	8,299,271
機械装置及び運搬具(純額)	3,788,019	4,543,867
工具、器具及び備品(純額)	274,127	266,544
土地	2,324,707	2,340,493
リース資産(純額)	273,781	246,820
建設仮勘定	925,895	253,981
その他(純額)	78,450	83,630
有形固定資産合計	15,190,623	16,034,608
無形固定資産		
ソフトウェア	10,723	24,492
その他	164,063	175,951
無形固定資産合計	174,787	200,444
投資その他の資産		
投資有価証券	2,576,535	3,270,240
繰延税金資産	53,695	35,405
その他	788,104	728,197
貸倒引当金	△48,629	△48,629
投資その他の資産合計	3,369,705	3,985,214
固定資産合計	18,735,117	20,220,268
資産合計	59,269,379	72,009,846

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年10月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年4月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,827,942	12,724,516
短期借入金	11,958,649	16,888,428
1年内返済予定の長期借入金	621,400	617,400
未払法人税等	580,214	808,170
賞与引当金	695,450	582,381
役員賞与引当金	39,200	29,420
その他	2,496,696	2,683,108
流動負債合計	26,219,554	34,333,424
固定負債		
長期借入金	1,427,650	2,620,950
退職給付に係る負債	354,811	339,653
役員退職慰労引当金	228,485	245,166
繰延税金負債	431,030	918,619
その他	303,110	283,447
固定負債合計	2,745,088	4,407,835
負債合計	28,964,642	38,741,260
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,379,736	3,379,736
資本剰余金	3,042,770	3,042,770
利益剰余金	22,415,374	24,191,184
自己株式	△1,300,567	△1,300,567
株主資本合計	27,537,313	29,313,123
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	859,678	1,385,512
繰延ヘッジ損益	229,483	158,718
為替換算調整勘定	1,013,021	1,729,146
その他の包括利益累計額合計	2,102,184	3,273,377
少数株主持分	665,239	682,085
純資産合計	30,304,737	33,268,586
負債純資産合計	59,269,379	72,009,846

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年11月1日 至平成26年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年11月1日 至平成27年4月30日)
売上高	50,887,013	55,610,836
売上原価	44,204,409	47,965,683
売上総利益	6,682,603	7,645,152
販売費及び一般管理費	4,945,252	5,409,609
営業利益	1,737,351	2,235,543
営業外収益		
受取利息	3,697	9,547
受取配当金	12,524	13,324
為替差益	70,666	145,765
持分法による投資利益	11,410	9,956
受取保険金	9,460	4,616
その他	59,665	116,623
営業外収益合計	167,424	299,833
営業外費用		
支払利息	75,233	78,265
支払補償費	16,935	42,458
その他	2,094	17,067
営業外費用合計	94,263	137,791
経常利益	1,810,512	2,397,585
特別利益		
固定資産売却益	1,056	517
保険差益	—	652,453
特別利益合計	1,056	652,970
特別損失		
固定資産除却損	8,853	7,000
減損損失	—	12,457
その他	2,086	37
特別損失合計	10,939	19,494
税金等調整前四半期純利益	1,800,630	3,031,061
法人税、住民税及び事業税	583,010	771,768
法人税等調整額	93,520	391,479
法人税等合計	676,530	1,163,248
少数株主損益調整前四半期純利益	1,124,099	1,867,813
少数株主利益	19,118	11,705
四半期純利益	1,104,981	1,856,108

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年11月1日 至平成26年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年11月1日 至平成27年4月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,124,099	1,867,813
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	82,276	530,973
繰延ヘッジ損益	△58,400	△70,765
為替換算調整勘定	279,988	716,125
その他の包括利益合計	303,865	1,176,333
四半期包括利益	1,427,965	3,044,147
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,409,662	3,027,301
少数株主に係る四半期包括利益	18,302	16,846

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年11月1日 至平成26年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年11月1日 至平成27年4月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,800,630	3,031,061
減価償却費	899,759	951,833
減損損失	—	12,457
支払利息	75,233	78,265
為替差損益(△は益)	△5,807	△107,760
引当金の増減額(△は減少)	△103,332	△103,056
売上債権の増減額(△は増加)	△2,693,179	△2,768,533
たな卸資産の増減額(△は増加)	△2,429,750	△7,027,012
仕入債務の増減額(△は減少)	1,403,849	2,621,759
その他の流動資産の増減額(△は増加)	407,635	△296,298
その他	174,609	△535,475
小計	△470,352	△4,142,760
利息及び配当金の受取額	42,211	30,878
利息の支払額	△75,659	△74,631
法人税等の支払額	△394,900	△548,355
保険金の受取額	—	1,209,999
営業活動によるキャッシュ・フロー	△898,701	△3,524,869
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△625,603	△1,425,540
有形固定資産の売却による収入	7,775	638
投資有価証券の取得による支出	△6,365	△6,257
その他	2,405	△2,979
投資活動によるキャッシュ・フロー	△621,787	△1,434,138
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	1,161,933	4,705,014
長期借入金の返済による支出	△310,700	△310,700
長期借入れによる収入	—	1,500,000
自己株式の取得による支出	△23	—
リース債務の返済による支出	△33,335	△50,362
配当金の支払額	△175,060	△165,332
財務活動によるキャッシュ・フロー	642,814	5,678,618
現金及び現金同等物に係る換算差額	50,159	186,211
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△827,514	905,821
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	47,058
現金及び現金同等物の期首残高	4,859,988	5,490,876
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,032,474	6,443,756

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成25年11月1日至平成26年4月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額(注) 2
	日本	米国	中国	計		
売上高						
外部顧客への売上高	43,468,885	5,575,907	1,842,221	50,887,013	—	50,887,013
セグメント間の 内部売上高又は振替高	486,108	6,060,901	2,007,252	8,554,262	△8,554,262	—
計	43,954,994	11,636,808	3,849,473	59,441,276	△8,554,262	50,887,013
セグメント利益	1,937,415	249,954	2,771	2,190,141	△452,790	1,737,351

(注) 1. セグメント利益の調整額△452,790千円には、セグメント間消去△21,116千円、全社費用△431,673千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成26年11月1日至平成27年4月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額(注) 2
	日本	米国	中国	計		
売上高						
外部顧客への売上高	47,640,944	4,454,069	3,515,822	55,610,836	—	55,610,836
セグメント間の 内部売上高又は振替高	172,747	8,303,622	2,481,777	10,958,147	△10,958,147	—
計	47,813,692	12,757,691	5,997,599	66,568,983	△10,958,147	55,610,836
セグメント利益	2,276,240	543,288	54,857	2,874,387	△638,843	2,235,543

(注) 1. セグメント利益の調整額△638,843千円には、セグメント間消去15,373千円、全社費用△654,217千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。